

平成 27 年度 公益財団法人石川県林業公社事業計画書（案）

基本方針

石川県林業公社は、昭和 41 年に発足以来、国、県の森林整備目標に沿って分収方式により計画的に森林整備を推進してきたところである。

設立当初に植栽した森林は 10 齢級になり、年々森林資源が充実して 8 齢級以上の森林が過半数を占めるようになり、間伐事業の取組強化が求められている。その一方、除伐や枝打ち等の保育が必要な森林も依然として存在していることから、適期に保育事業を実施する必要がある。

しかし、木材価格の低迷、労務単価の上昇や借入金の利払いなど公社の経営状況は依然、厳しいものがある。

このため、引き続き効率的な事業の実施に努めるとともに、分収比率の見直しを推進し、経営改善に取り組むこととしているところである。

林業公社としては、これらの取り組みを進める一方、引き続き造林事業の適正な管理を通じ、森林の公益的機能の維持・増進に努めてまいりたい。

白山林道については、平成 20 年度以降、利用台数の減少が続いているが、新愛称・新料金を追い風として利用者の拡大に努めてまいりたい。

1 造林事業

(1) 分収造林事業

合理的な路網整備や高性能林業機械による効率的、計画的な利用間伐を推進するため、平成 24 年度までに 331 団地 13,731ha の公社造林地について森林経営計画を策定しており、今年度も引き続き造林地の生育状況に応じた利用間伐等を実施し、計画的な森林整備を行うこととしている。

また、経営改善の最重要課題である分収比率の見直しの契約変更については、平成 26 年度末現在で公的機関も含めた実績は 12,199ha と契約面積全体（13,731ha）の 89%となっており、長伐期施業への転換に伴う契約期間延長と併せ、土地所有者の理解を得ながら全ての契約完了に向けて引き続き取り組むこととしている。

(2) 公所有林事業

森林の公益的機能の保全及び地域モデル林の造成等を目的として、県内6市町で475haを取得し、計画的な森林整備に努めている。

なお、平成27年度は事業予定箇所はない。

(3) 県営林整備事業

石川県からの委託を受け、県営林の保育管理を実施している管理受託事業を行うこととしている。

2 白山林道管理事業

白山・白山郷ホワイトロードの利用者の安全を最優先に管理・運営を実施し、快適なドライブが楽しめるよう努めてまいりたい。

また、ふるさと林道整備事業の受託により、岩盤や建造物の劣化が著しい箇所についての安全対策工事を実施する。

誘客対策については、県や白山市及び地元等、関係団体と連携し愛称変更と通行料金を半額としたことを広く周知するとともに、各種イベント等の充実を図り、利用台数の増加に努めてまいりたい。

3 分収育林事業

県下3地区の分収育林地について適期に保育事業等の管理を行っており、今年度は、輪島市門前町の「門前名水の森」で間伐を行うこととしている。

2 事業計画(案)

事業名	事業量	事業費
		千円
ア 分収造林事業		1,365,024
(ア) 保育費		297,137
利用間伐	296.0 ha	171,680
枝打ち	70.0 ha	25,550
除伐	130.0 ha	19,370
森林作業道等	31,238.0 m	70,009
森林調査費等	202.0 ha	10,528
(イ) 管理費	事務費、職員給等	110,376
(ウ) 経営改善費	元利償還金	957,511
イ 公社有林管理事業	元利償還金	27,664
ウ 県営林管理受託事業	植栽、間伐等 106.2 ha	91,479

事業名	事業量	事業費
		千円
エ 白山林道管理事業		178,374
(ア) 施設維持	林道の除雪、維持作業等	33,328
(イ) 管理費	職員費、元利償還、事務費等	145,046
オ 白山林道リフレッシュ事業	転落防止柵 81.0 m	2,538
カ ふるさと林道整備受託事業	法面保護工等 333.0 m	97,650
キ 分収育林事業	間伐 2.9 ha	1,696

平成27年3月26日 提出

公益財団法人石川県林業公社

理事長 中村 義孝